

金属アーク溶接等作業を行う事業者の皆さまへ

マスクフィットテストのご案内

金属アーク溶接等作業で発生する「溶接ヒューム」は、労働者に神経障害等の健康障害を及ぼすおそれがあることが明らかになり、特定化学物質障害予防規則等が改正されました。金属アーク溶接等作業を継続して行う作業者に対し、呼吸用保護具（マスク）のフィットテストの実施が義務付けられました。

施行日：令和5年4月1日

対象者：金属アーク溶接等作業を継続して屋内作業場で行うすべての作業者

実施頻度：初めてマスクを使用させるとき、および1年以内ごとに1回以上

結果記録：保存期間3年間

◆マスクフィットテストとは

面体を有する呼吸用保護具（マスク）は、顔に密着していなければ最適な性能を得られません。

フィットテストとは、マスクが使用者の顔面に密着しているか、漏れ込みがないかを定量的に評価する方法です。

◆フィットテストの実施方法

JIS T8150（呼吸用保護具の選択、使用および保守管理方法）に定める方法により実施します。

フィットテストには定量的フィットテストと定性的フィットテストの2種類があり、呼吸用保護具の種類によりフィットテストの方法が定められています。

定性的フィットテストは、被験者の味覚に対する感覚により判定を行う方法です。これに対し定量的フィットテストは、専用の装置を用いマスクの内側と外側の粒子濃度を測定することによりフィットファクタを求める、より客観性のある計測方法です。

$$\text{フィットファクタ} = \frac{\text{マスクの外側の測定対象物の濃度}}{\text{マスクの内側の測定対象物の濃度}}$$

マスクの種類		要求フィットファクタ	フィットテストの方法	
			定性的	定量的
全面形面体を有するもの	取替式マスク、電動ファン付きマスクなど	500	—	○
半面形面体を有するもの	使い捨てマスク、取替式マスク、電動ファン付きマスクなど	100	○	○

※半面形面体を用いて定性的フィットテストに合格した場合、フィットファクタは100以上とみなします

当連合会では、最新のフィットテスターを用いて**短縮定量的**フィットテストを実施します。標準法に比べテスト時間が約1/3に短縮される短縮版プロトコルでの測定が可能のため、計測時間が短く被験者の負担が軽減されます。

短縮定量的フィットテスト動作（使い捨て式マスクの場合）

- | |
|----------------------------|
| 1. つま先に触れるように前屈して2回呼吸（50秒） |
| 2. 発声（30秒） |
| 3. 立った状態で頭を左右に回す（30秒） |
| 4. 立った状態で頭を上下に動かす（40秒） |



※上記時間に加えマスクの着脱時間が必要です

マスクフィットテストは、マスクフィットテスト実施者養成研修を修了した十分な知識及び経験を有する技師が、お客様の事業場へ訪問し実施いたします。また、フィットテスト被験者が少人数の場合は、被験者様に長野県内4測定所のいずれかにご来所いただいたのテストもお受けしております。

詳しいテスト内容や料金等につきましては、下記までお気軽にお問合せください。

【法改正情報】

マスクフィットテストは、金属アーク溶接等作業のほか以下の作業についても実施を求めることが厚生労働省で検討されています。

- ①作業環境測定結果が第三管理区分から改善されない作業場
- ②化学物質リスクアセスメントを行った結果、リスクを低減するためにマスク着用作業に指定した作業場

当連合会には長野県内4測定所に40名の作業環境測定士が在籍しており、以下の業務を通じ安全安心な職場づくりのお手伝いをしています

- 安全衛生講習会の主催 ○健康診断 ○作業環境測定 ○アスベスト調査分析 ○局所排気装置定期自主検査代行
- マスクフィットテスト ○工場安全衛生診断 ○リスクアセスメント導入支援 ○労働衛生コンサルタント業務
- 環境計量証明（水質分析・ばい煙測定・騒音振動測定・悪臭臭気測定ほか） ○動力プレス特定自主検査代行

一般社団法人 長野県労働基準協会連合会 URL <http://www.naganoroukiren.or.jp>

長野測定所	長野市アークス2-3	☎ 026-223-0246
上田測定所	東御市県548-1	☎ 0268-64-1151
松本測定所	松本市神林7107-55	☎ 0263-40-3811
諏訪測定所	諏訪市沖田町4-12	☎ 0266-58-4315
安全衛生支援室	長野市アークス2-3	☎ 026-268-1445

マスクフィットテストのほか、労働安全衛生全般についてお気軽にご相談ください